

都市フォーラム29号

東北都市学会通信（通巻29号）

2015年8月7日

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

主なトピック

- ・東北都市学会 2015 年度大会のお知らせ
- ・2015 年度大会発表等の申し込み
- ・石巻支部会の活動
- ・2014 年度会員会を開催
- ・日本都市学会 2015 年度大会のお知らせ
- ・『研究年報』第 14 号の発行
- ・『研究年報』第 15 号論文の募集
- ・会員の状況
- ・2015 年度会費納入のお願い
- ・事務局から

東北都市学会 2015 年度大会のお知らせ

2015 年度東北都市学会大会は、11 月 28 日（土）・29 日（日）に岩手県立大学アイーナキャンパス（盛岡駅西口）で開催いたします。28 日の午後に盛岡市内または紫波町内のエクスカッション（予定）、理事会および懇親会を行い、29 日午前に会員会及び研究発表を行います。

会員の皆さんのご参加をお待ちしています。大会要項は次のとおりです。自由研究発表への申込もお待ちしています。参加の可否については、同封の葉書で 9 月 18 日（金）（必着）までにご返送下さい。

[2015 年度大会開催要項]

日程 11 月 28 日（土）～29 日（日）

会場 岩手県立大学アイーナキャンパス

[プログラム]（予定）

28 日（土）

13:00～16:30 エクスカッション（予定）

17:00～18:00 理事会

18:30～20:30 懇親会（場所未定）

29 日（日）

9:00 受付開始

9:20～10:00 会員会

10:10～12:40 研究発表

2015 年度大会研究発表の申し込み

2015 年度大会における自由報告の発表を募集いたします。以下の発表申し込み要領、発表要旨作成要領ならびに発表要領をご覧の上、電子メール、または同封の発表申し込みハガキに必要事項を記入し、学会事務局にお送り下さい。

[発表申し込み要領]

- ・発表の申し込みはできるだけ電子メールを使用して下さい。
tabuchi@fukushima-nct.ac.jp
- ・発表申込締切は 9 月 18 日（金）です（必着）。
- ・共同発表の場合は、すべての共同者の名前を書き、発表者には○印をつけて下さい。また、発表者は 4 人以内とします。
- ・取り消しの必要が生じた場合は、直ちに事務局に連絡して下さい。

[発表要旨作成要領]

発表要旨は次の要領で作成してください。

- ① A4 サイズの用紙を使い、ワープロで作成しプリントアウトして下さい。印刷余白は上下左右とも **25mm** とって下さい。
- ② ページ設定を **40 字×40 行**にしてください。
- ③ 発表題目は **16 ポイント・ゴシック**に指定し、センターに置いて下さい。副題は **12 ポイント・ゴシック**にして下さい。
- ④ 名前(所属)は **12 ポイント**にし、右に揃えて下さい。
- ⑤ 題目と名前の間、および名前と本文の間に **1 行余白**を入れて下さい。
- ⑥ 本文は **12 ポイント**にして下さい。
- ⑦ 要旨は、A4 用紙 **2 枚**に収めて下さい（一人分です。共同の場合は **6 枚以内**です）。
- ⑧ 要旨はなるべく電子メールによる添付ファイルで提出してください。郵送の場合は、A4 の用紙を折らないように大きい封筒をお使い下さい。
- ⑨ 発表申込締切は 9 月 18 日（金）です。発表

要旨の送付締切日は**10月30日(金)**です。
厳守をお願いします。

- ⑩ 要旨のフォーマットは学会HPに掲載しますので、そちらもご活用ください。

要旨の送付は**電子メールを使用して下さい**
(tabuchi@fukushima-nct.ac.jp)。

[発表要領]

- ・ 発表内容は、都市に関する研究報告、調査研究報告、都市施策・まちづくり・地域づくり等の実践報告を主とします。
- ・ 個人発表の場合は発表、質疑応答、交代時間を含めて30分とします。**共同発表も同時間とします。**
- ・ いずれも時間を厳守して下さい。
- ・ 発表の際には、発表レジュメあるいは発表資料をできるだけ用意して下さい。

石巻支部会の活動

ベガルタ仙台の斎藤美和子会員、石巻専修大学の若月昇会員を中心に活動が行われました。支部会は第1回4月22日、第2回7月7日、第3回9月8日、第4回12月1日に開きました。12月にはゲストスピーカーを迎えての支部会となるなど、例年どおり活発な活動が行われました。

文末になりますが、関係者の皆様方に深く御礼を申し上げます。

2014年度会員会を開催

2014年度の会員会を2014年9月28日に開催しました。会員会の議事は次のとおりです。

1. 2013年度事業報告
2. 2013年度決算(案)
3. 2014年度事業報告(案)
4. 2014年度予算(案)
5. 次年度大会について
6. その他(会員の状況など)

報告事項では理事会、2013年度大会、公開シンポジウムの開催、石巻支部会の報告、学会通信および研究年報の発行が報告されました。

日本都市学会 2015年度大会のお知らせ

2015年度日本都市学会大会は、**10月30日(金)～11月1日(日)**に、**新潟県上越市のホテル・ハイマート(えちごトキめき鉄道直江津駅北口前)にて、上越市の共催および(公社)上越観光コンベンション**

協会の後援を得て開催いたします。30日の午後の上越市内のエキスカッション(予定)、31日午前に研究発表Ⅰ、午後にはシンポジウムおよび総会、1日に研究発表Ⅱが行われます。日本都市学会員の皆様のご参加をお待ちしています。

『研究年報』第14号の発行

『研究年報』第14号が発行されました。投稿論文4編、研究ノート1編、特集論文2編、大会記事「子育て支援と地域力」から構成され、2014年秋に各会員に郵送されました。また、続いて第15号も2015年度末発行に向けて編集作業を進めています。

『研究年報』第15号論文の募集

『研究年報』第15号は2015年度末の発行を目指し、論文を募集しています。また、13号から継続している東日本大震災関連の特集論文の募集も同時に行っておりますので、投稿ご希望の方は学会事務局までお問い合わせください。

学会誌のコンスタントな発行と内容の充実をとおし、東北都市学会の一層の盛り上げを図ろうと考えておりますので、ふるってご応募ください。なお、上記に限らず自由投稿論文は随時受け付けています。「論文」、「研究ノート」、「フィールド・ノート」、「都市情報」、「書評」、「文献紹介」、すべてのジャンルで受け付けます。投稿にあたっては、研究年報各号に掲載している[研究年報投稿規程]にしたがって原稿を作成のうえ、下記『研究年報』編集委員会宛にお送りください。なお、従来のような紙媒体による投稿に限らず、**Word形式の論文データを添付した電子メールによる投稿も受け付けます。**

『研究年報』編集事務局

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾30
福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科
田淵義英研究室気付
E-mail tabuchi@fukushima-nct.ac.jp

会員の状況 2015年3月末現在

一般個人：74 一般学生：3 団体：4
(日本都市学会会員 81)

地域個人：27 地域学生：3

合計会員数 111

2015 年度会費納入のお願い

2015 年度の会費納入をお願いします(過年度分も含む)。学会の活動は、会費によって支えられています。会員の皆様の迅速な納入をお願いいたします。うっかり滞納をされている会員もおられるかと思えます。納入にご協力ください。また、3 年以上滞納されている会員の方には別途、連絡いたします。

なお、会費請求書は大会案内時に同封いたしますので、郵便振替あるいは銀行振込でお支払い下さい。会費は次のとおりです。

[会費]

一般個人会員 9,000 円

地域個人会員 5,000 円

一般学生会員 7,000 円

地域学生会員 3,000 円

団体会員

東北都市学会費 10,000 円×口数+日本都市学会費 4,000 円

[納入方法]

郵便振替 02250-2-42389 東北都市学会
郵便貯金口座 18140-27225001 東北都市学会
銀行口座 七十七銀行 仙台市役所支店
(普) 5253861 東北都市学会 会長 増田聡

東北都市学会役員 (2014.10~2016.9)

会長 増田 聡:【本部支部会長理事】
理事 北原 啓司(青森)
理事 石沢 真貴(秋田)
理事 佐藤 慎也(山形)
理事 吉野 英岐(岩手):編集担当
理事 千葉 昭彦(宮城):【本部支部選出理事】
理事 初沢 敏生(福島)
理事 岩動 志乃夫:研究活動担当
理事 齊藤 美和子
理事 佐藤 信夫
理事 佐藤 直由
理事 田淵 義英:【本部常任理事】
理事 仙台市
(担当:企画市民局総合政策部政策計画課)
理事 仙台エリアマーク事業協同組合
(担当:松本 真明)
監事 阿見 孝雄・齋藤 綾美

※研究専門委員

岩動志乃夫(委員長)、加藤渉、齊藤美和子、佐藤直由、高橋英博、土屋純、初沢敏生、日野正輝、若月昇、松本行真

事務局から

- ▼ 『都市フォーラム』は会員の皆さまのお手元に届く少し前には、HPでもご覧になれます。
- ▼ 2015 年度日本都市学会大会は 10 月 30 日～11 月 1 日の 3 日間、新潟県上越市のホテル・ハイマート(えちごトキめき鉄道直江津駅北口前)にて開催します。
- ▼ 第 15 号は自由投稿論文に加え、引き続き震災関連の調査研究報告の特集を行います。多くの会員の皆さまからの応募をお待ちしております。

都市フォーラム 29 号

東北都市学会通信

2015 年(平成 27 年)8 月 7 日発行

編集発行 東北都市学会事務局

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30

福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科

田淵義英研究室気付

Tel 0246-46-0857 (直通)

E-mail tabuchi@fukushima-nct.ac.jp

http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html

2015 年度東北都市学会大会 公民連携によるまちづくり

東北都市学会会長 増田 聡

近年、新しいまちづくりの手法として公民連携事業が注目されている。これまでも民間からの出資を導入した第 3 セクターの設立や公共施設(公有)の指定管理という連携の形態が存在したが、近年の新しい動きとして、補助金依存型事業から脱却し、公と民が契約によって役割分担を明確にしながら、PFI(Private Finance Initiative)や PPP(Public Private Partnership)といった手法で地域の可能性を活かす事例がみられるようになった。

PFIとは公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法で、1999 年 7 月の「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI 法)と、2000 年 3 月の「基本方針」の策定以降、事業化が図られてきた。一方、PPP は事業の企画段階から民間事業者が参画する方式で、まちづくりのより幅広い範囲を民間事業者とともに進める手法である。これらの手法を組み合わせながら、実際に公民連携のまちづくりを進めているのが岩手県紫波町である。

紫波町は盛岡市の南に位置する人口約 33,000 人の町である。紫波町では JR の紫波中央駅の新設を機に、駅周辺の 21.2 ヘクタールに、地域交流センター・図書館・子育て支援施設・店舗施設からなるオガールプラザ、スポーツ施設、ホテル、住宅、そして役場新庁舎を建設し、都市機能の集積と交流拠点の整備に取り組んでいる。仮にこれだけであれば公共事業あるいは民間資本による従来の駅前再開発事業のように見えるが、紫波町では公民連携事業として、事業の管理運営主体となるオガール紫波株式会社(第 3 セクター)を設立し、オガール紫波が建物の建設、所有のために設立した特定目的会社であるオガールプラザ株式会社による民間資金の調達を行いながら、PPP、PFI による都市整備事業を進めている。そして、「稼ぐインフラ」を旗印に、都市空間の魅力の向上と交流人口・定住人口の増加を目指している。

今回の大会では、地方創生が叫ばれているなかで、地方都市における公民連携事業によるまちづくりの事例とその効果や課題を大会エクスカージョンで検証することを通じて、参加者とともにこれからのまちづくりの在り方を考えていく契機を提供したい。

【主催】東北都市学会 【共催】日本都市学会 【後援】岩手県立大学他(予定)

【開催時期】2015 年 11 月 28 日(土)～29 日(日)

【場所】岩手県立大学アイーナキャンパス(盛岡駅西口)

【日程】

27 日(土)12 時～20 時

13 時～16 時半	エクスカージョン(参加費 1,500 円を予定)
17 時～18 時	理事会
18 時半～20 時半	懇親会(会費 5,000 円を予定)

28日(日)10時～17時

9時00分	受付開始
9時20分～10時00分	会員会
10時10分～12時40分	研究発表

➤ 宿泊場所などは、各自でご手配下さい。

※参加の可否については、同封の葉書で9月18日(金)(必着)までにご返送下さい。

※発表要旨は事務局・田淵(tabuchi@fukushima-nct.ac.jp)へ10月30日(金)までに送信してください。

※エキスカーション、懇親会場などの詳細が決まり次第、東北都市学会ホームページでお知らせし、
○月発送予定の大会案内に記載します。



2013年度 東北都市学会 決算報告

貸借対照表(2014年3月31日現在) 単位:円

科目	金額	科目	金額
現金	6,376	次年度繰越	425,757
郵便貯金	376,477		
銀行預金	42,904		
合計	425,757	合計	425,757

収支計算書(自2013年4月1日 至2014年3月31日)

収入の部

単位:円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 前年度繰越金	495,687	495,687	0	
2 会費収入	700,000	767,000	-67,000	団体2、一般個人・学生50、地域個人20(過年度分含む)
3 利息	100	129	-29	
4 広告収入	0	0	0	
5 年報代収入	0	0	0	
6 大会参加費	30,000	20,000	10,000	
7 臨時的収入	0	0	0	
合計	1,225,787	1,282,816	-57,029	

支出の部

単位:円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
1 印刷費	350,000	429,639	-79,639	封筒、研究年報(200部 No.13)
2 郵送費	40,000	8,560	31,440	フォーラム27号、横手大会案内に関する切手、宛名ラベル等
3 事務雑費	30,000	30,000	0	事務用品、事務アルバイト等、振込手数料
4 旅費	20,000	0	20,000	理事会出席旅費
5 会議費	20,000	0	20,000	
6 委託費	30,000	30,000	0	テープ起こし料
7 研究活動費	30,000	0	30,000	研究例会講師謝金等
8 大会運営費	150,000	74,860	75,140	2013年度横手大会
9 ホームページ管理費	12,600	0	12,600	2013年度は次年度に振込のため
10 日本都市学会会費	278,800	284,000	-5,200	2013年度 4,000円×90名×0.85
11 次年度繰越金	264,387	425,757	-161,370	
合計	1,225,787	1,282,816	-57,029	

上記2013年度東北都市学会会計の決算を報告いたします。 2014年 8月 31日

東北都市学会会計担当 松本 行真

2014年3月31日現在の東北都市学会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

2014年 月 日

監事 阿見 孝雄

監事 斉藤 綾美

2014年度 東北都市学会 予算案

収入の部

単位:円

科目	予算額	昨年度実績	摘要
1 前年度繰越金	425,757	495,687	
2 会費収入	749,600	767,000	団体4、一般82、地域31 納付率80%として算出
3 利息	100	129	
4 広告収入	0	0	
5 年報代収入	0	0	
6 大会参加費	30,000	20,000	
7 臨時的収入	0	0	
合計	1,205,457	1,282,816	

支出の部

単位:円

科目	予算額	昨年度実績	摘要
1 印刷費	400,000	429,639	封筒、研究年報(200部 No.14号(10月上旬発送))
2 郵送費	40,000	8,560	フォーラム発送に関する切手、宛名ラベル等
3 事務雑費	30,000	30,000	事務用品、事務アルバイト等、振込手数料
4 旅費	50,000	0	理事会出席旅費
5 会議費	20,000	0	
6 委託費	0	30,000	テープ起こし料
7 研究活動費	30,000	0	研究例会講師謝金等
8 大会運営費	150,000	74,860	2014年度八戸大会
9 ホームページ管理費	25,200	0	2013年度、2014年度
10 日本都市学会会費	278,800	284,000	2013年度 4,000円×82名×0.85
11 次年度繰越金	181,457	425,757	
合計	1,205,457	1,282,816	